

世界のコインを楽しむ

中型銀貨 (5) ドイツ 2

第100回

平石国雄

西ドイツでは一九五一年より一九七四年にかけて五マルク銀貨(写真①、一九五一年ミュンヘン・ミント)が作られている。銀品位⁶²⁵で一・二〇gあり、直径は二九mmである。またミントは、ミュンヘン(ミントマーク'D')、シュトゥットガルト('F')、カールスルーエ('G')、ハンブルク('J')の四種である。表面は中央に大きな5を配したドイツ語の二重銘文で、日本語訳は「ドイツ連邦共和国(ミントマーク)・五ドイツマルク+(年銘)+」となっている。そして裏面には、ドイツの国章である翼を拡げた鷲が描かれている。

発行期間は二四年にわたるが、一九五二―五五年および一九六二年は発行がなく、一九五六、六一年はカールスルーエ、一九五九年はシュトゥットガルトでの発行がない。その結果年銘とミントの組み合わせは七三種類となる。また一九五八年のハンブルクは発行数六万枚で、最大の特年である。なお初年である一九五一年は四ミント全て発行数が多く、入手は比較的容易である。さらにプルーフ貨であるが、こちらは一九六五年以降のものが入手し易い。

三点の写真を追加掲載する。セミ特年である一九五七年のカールスルーエ('G')・ミント(写真②)、同ミントの一九六五年プルーフ貨(写真③)、一九六九年のシュトゥットガルト('F')・ミントのプルーフライク貨(写真④)である。

また西ドイツでは通常貨と同様の仕様で、一九五二年から一九七九年にかけて二八種類の五マルク記念銀貨も作られている。音楽家・文学者・哲学者・科学者などが多く登場するので、大変興味深い。また表面に描かれる翼を拡げた鷲は全て異なるデザインとなっている。

五マルク記念銀貨の写真を二点掲載する。ベートーヴェン生誕二〇〇年記念五マルク銀貨(写真⑤)、一九七〇年Fプルーフライクと、数学者ガウス生誕二〇〇年記念五マルク銀貨(写真⑥)、一九七七年Jプルーフである。表面に描かれている鷲のデザイン違いに注目されたい。また、ミントマークは表面下の額面'5'の湾曲した部分の中央に記されている(写真⑦、J'部分の拡大)。



写真④ 5マルク銀貨 1969年 'F' プルーフライク



写真① 5マルク銀貨 1951年 'D'



写真⑤ ベートーヴェン記念5マルク銀貨 1970年 'F'



写真② 5マルク銀貨 1957年 'G'



写真⑥ 数学者ガウス記念5マルク銀貨 1977年 'J'



写真③ 5マルク銀貨 1965年 'G' プルーフ



写真⑦ ミントマーク 'J' 部分拡大